

2021-2022年度 中期経営計画活動状況

-「2030年のビジョン」実現に向けた基盤づくり-

ZEON

日本ゼオン株式会社

代表取締役社長 田中 公章

2022年4月27日

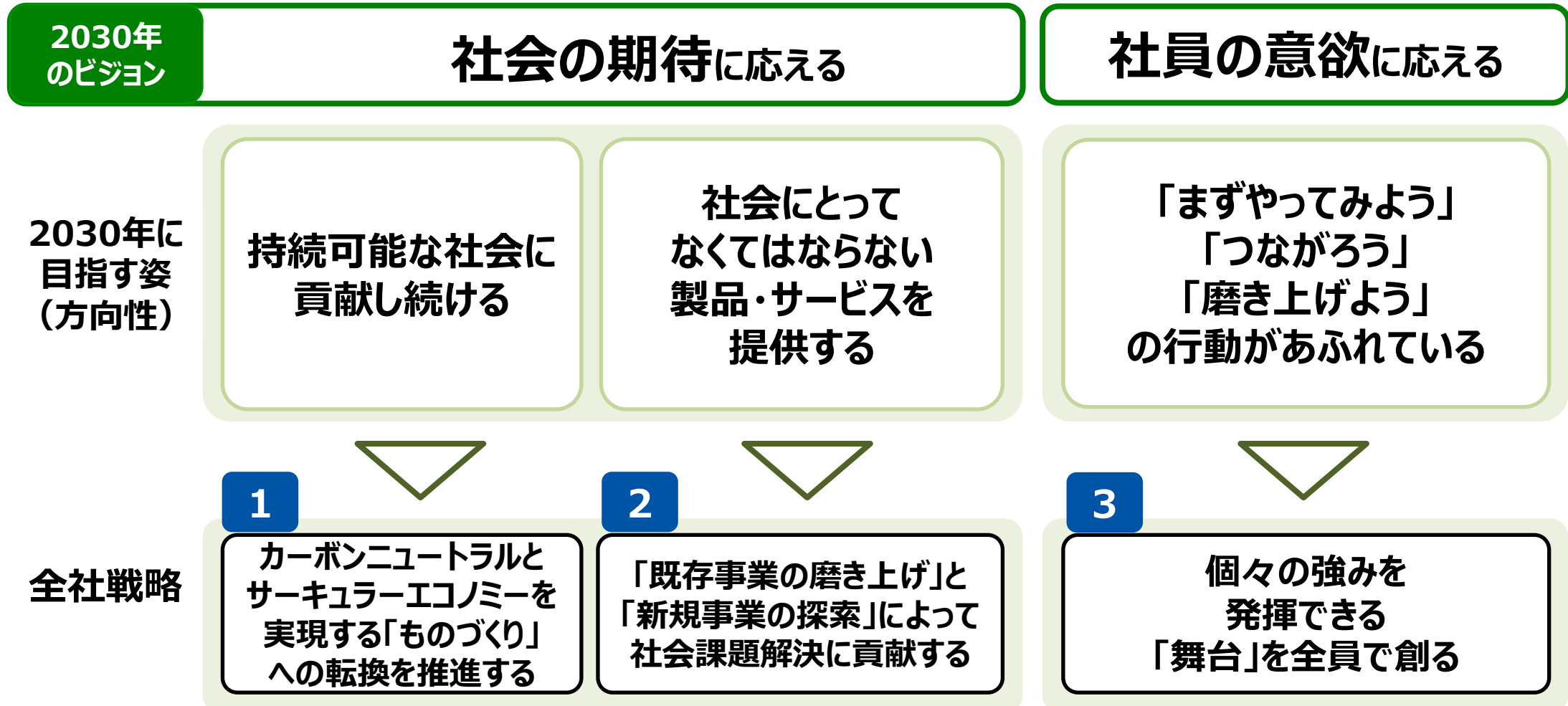
1. 3つの全社戦略の活動状況

- ①「カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する
- ②「既存事業の磨き上げ」と「新規事業の探索」によって社会課題解決に貢献する
- ③個々の強みを発揮できる「舞台」を全員で創る

2. 今後の主な検討項目

3. 株主還元

4. 2022年度 中期経営計画説明の運営変更

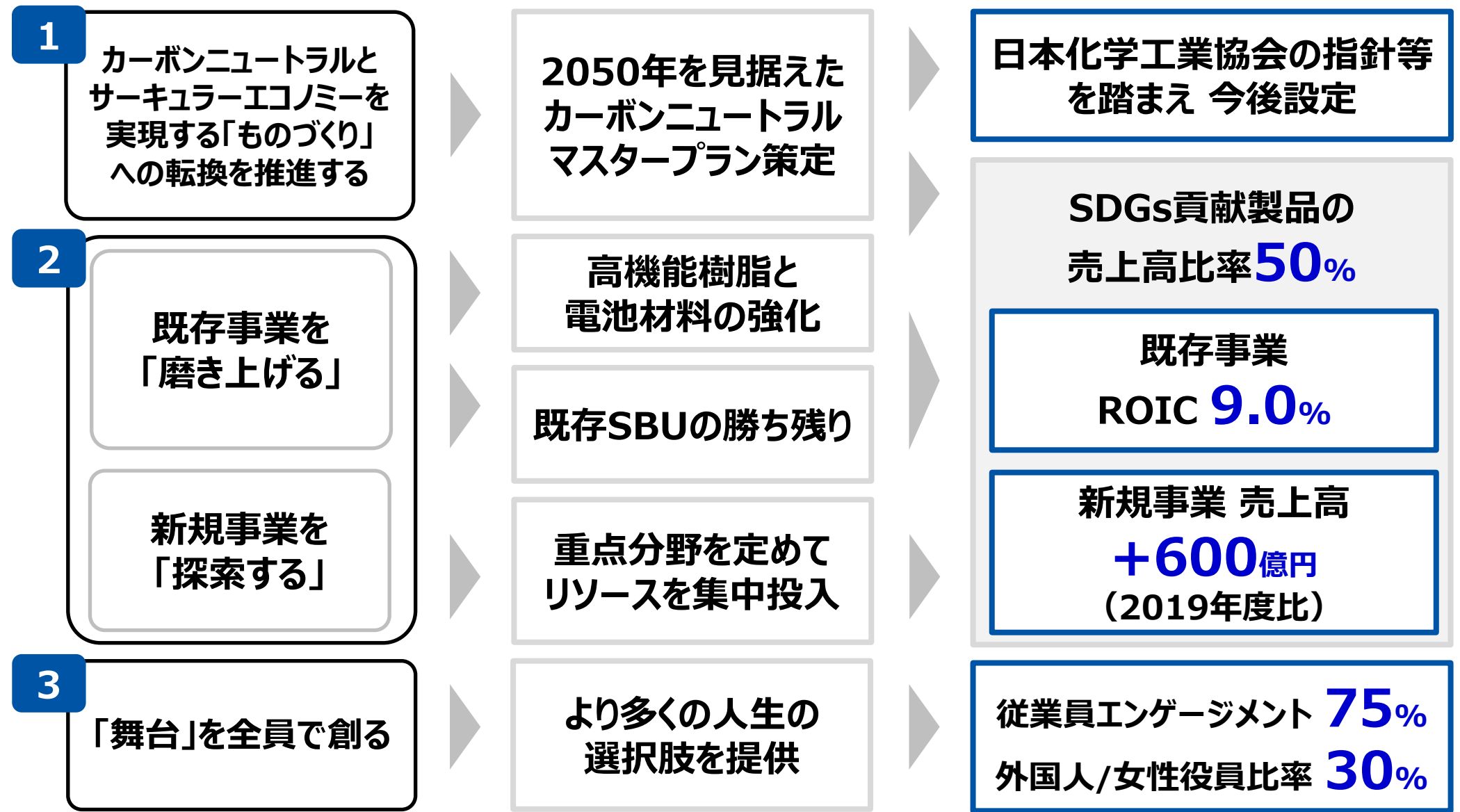


2030年に目指す姿 から 3つの全社戦略を立案

全社戦略

要となる方策 (2021-22)

2030年の目標値



全社戦略

要となる方策 (2021-22)

2030年の目標値

1 カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する

2050年を見据えたカーボンニュートラルマスタープラン策定

日本化学工業協会の指針等を踏まえ 今後設定

2 既存事業を「磨き上げる」

高機能樹脂と電池材料の強化

SDGs貢献製品の売上高比率 **50%**

新規事業を「探索する」

既存SBUの勝ち残り

既存事業 ROIC **9.0%**

3 「舞台」を全員で創る

より多くの人生の選択肢を提供

新規事業 売上高 **+600**億円 (2019年度比)

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

要となる方策

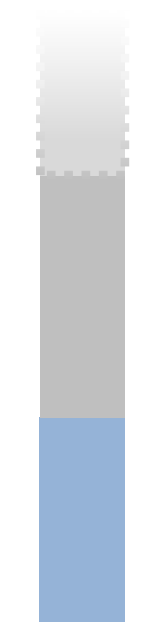
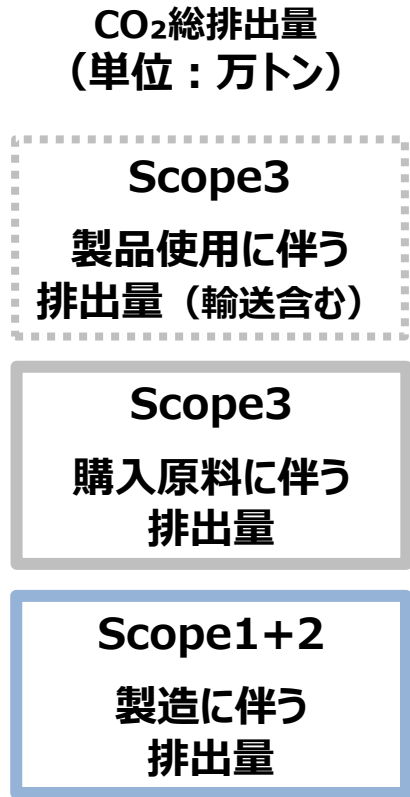
2021年の進捗

2050年を見据えた
カーボンニュートラル
マスタープラン策定

第1次カーボンニュートラル
マスタープラン作成

2030年の目標値

CO₂排出量**50.0%減**
2019年度比
ZEON単体の Scope1+2を対象



今後設定

省エネ
プロセス革新

燃料転換

77.8

38.9

2019

2030

購入電力：100%再生可能エネルギー化
カーボンニュートラルLNG 購入

高岡工場



2022年4月より実施

購入電力：100%再生可能エネルギー化

氷見二上工場



購入電力：100%再生可能エネルギー化
蒸気：グリーン熱証書 購入

徳山工場



購入電力：100%再生可能エネルギー化

敦賀工場



*NEDO = 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO*グリーンイノベーション基金事業に採択

採択された
実証事業

炭素資源循環型の
合成ゴム基幹化学品
製造技術の開発

光に適合したチップ等の
高性能化・省エネ化
不揮発メモリ開発

社会課題

世界的なタイヤ需要の増加に応じた
使用済みタイヤ・原材料の有効利用

急増する大規模データセンターの
電力消費量の削減

当社の
貢献

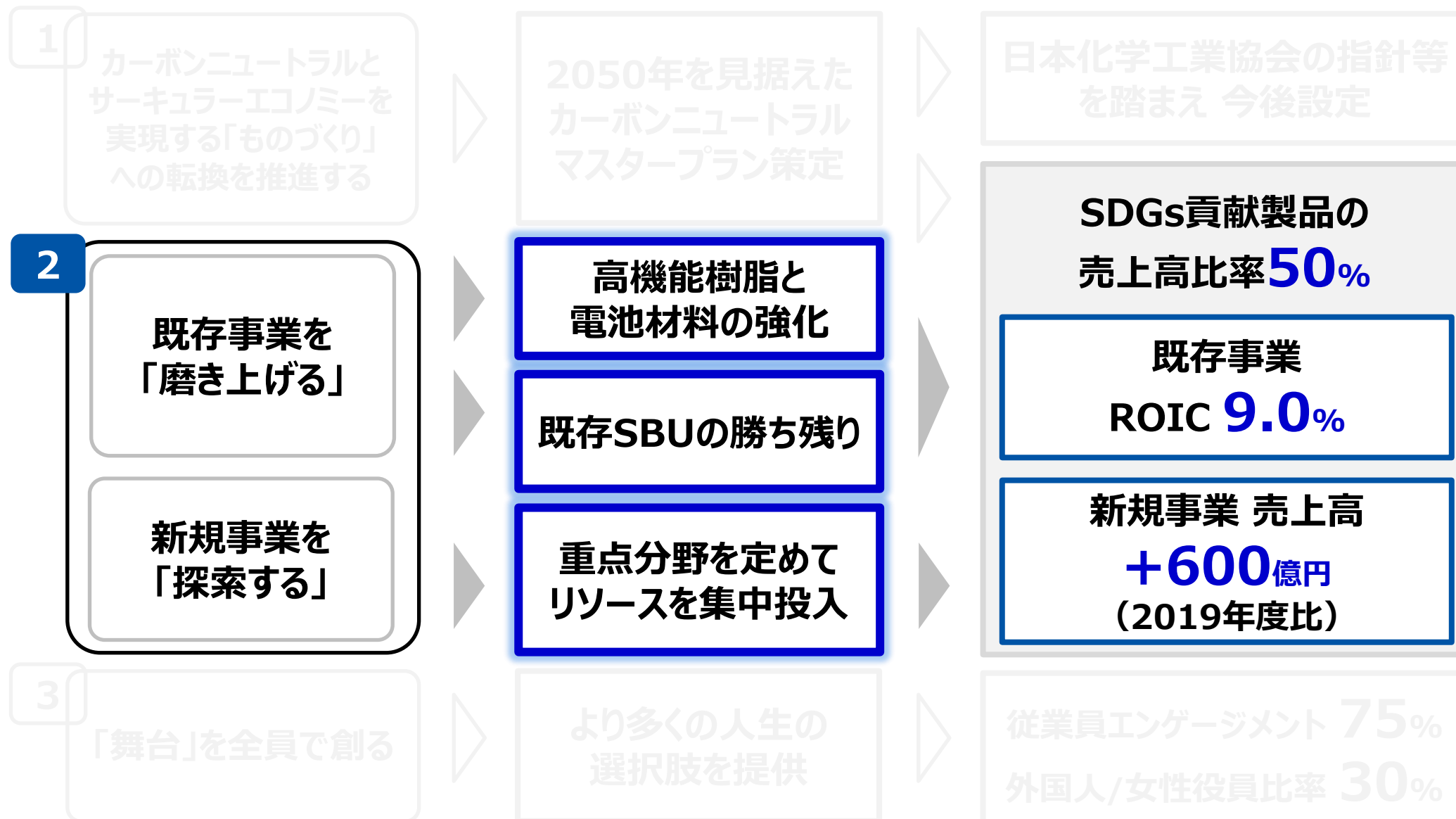
再生可能炭素資源から
ブタジエン・イソプレンを
高い収率で製造する技術確立

カーボンナノチューブ（CNT）を用いた
不揮発メモリで
データセンターの電力消費量 削減

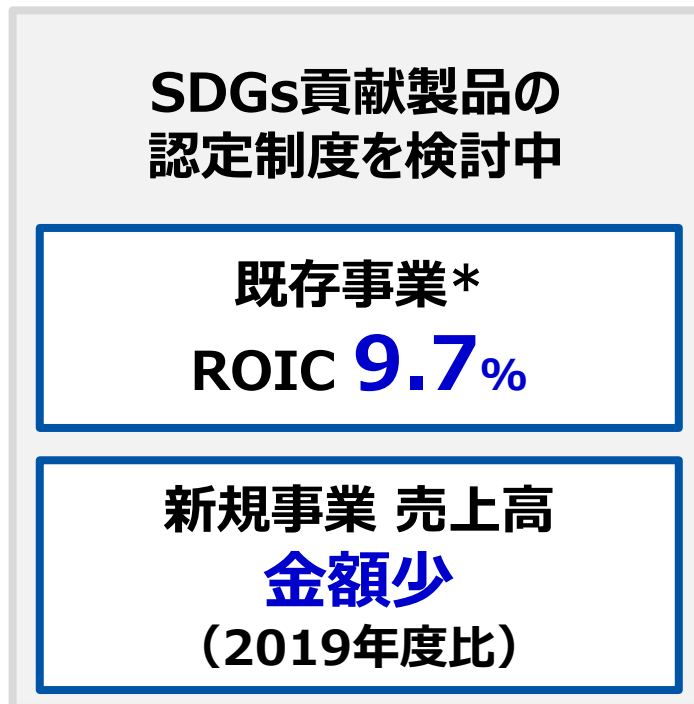
全社戦略

要となる方策 (2021-22)

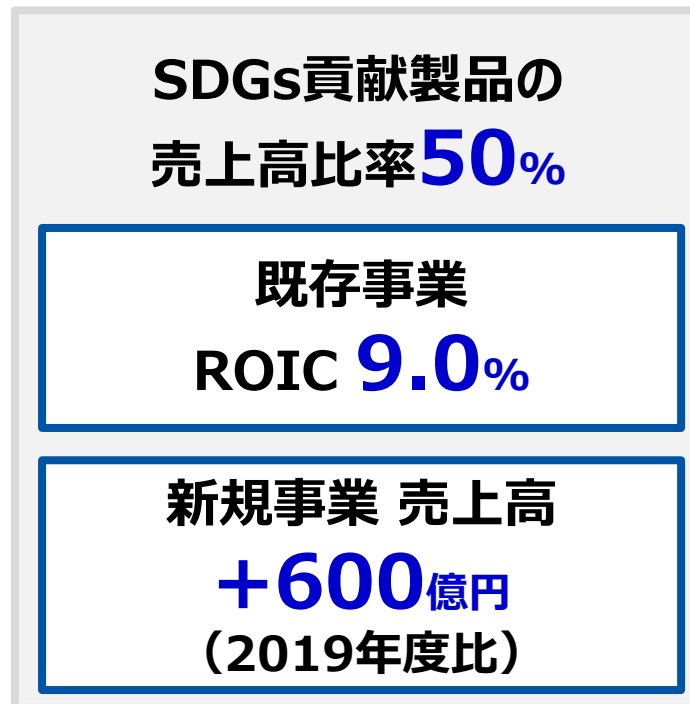
2030年の目標値



2021年の実績



2030年の目標値



*連結税引後営業利益÷（有利子負債期首期末平均＋純資産期首期末平均）

要となる方策

高機能樹脂と
電池材料の強化

電池材料

リチウムイオン電池向け
バインダー新拠点設立を決定
2024年の生産開始を目指し準備中

Zeon Chemicals Asia



高機能樹脂

能力増強 2021/7 完工 **+4,600トン**

水島工場



高機能樹脂

リサイクルプラント 2024/8 稼働予定
+6,000トン
高岡工場



生産能力（2024/8～）：
47,600トン(年)へ

**更なる能力増強を
検討中**

要となる方策

既存SBUの勝ち残り

水素化ニトリルゴム：新用途展開
能力増強 2023年 稼働予定

高岡工場

+約10%



生産能力：
約9,900トン(年)へ

光学フィルム：世界初の溶融押出法
能力増強 2023/10 稼働予定

敦賀工場

+5,000万㎡



生産能力：269百万㎡(年)へ

リーファルコール：世界シェア No.1
能力増強 2022秋 完工予定

水島工場

+400トン



生産能力：
1,600トン(年)へ

要となる方策

重点分野を定めて
リソースを集中投入

米国・Aurora Microplates社の買収完了

Aurora
Microplates

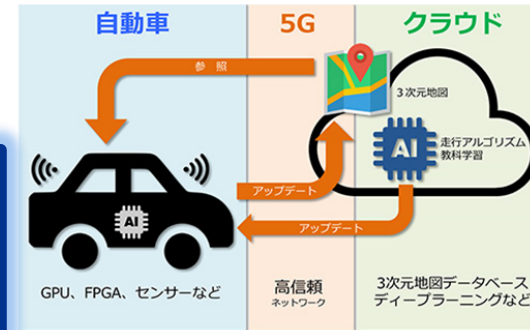


医療・ライフサイエンス



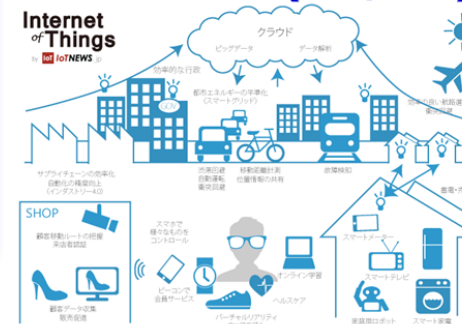
出典：厚生労働省HP

CASE・MaaS



出典：経産省CASE技術戦略プラットフォーム

情報通信 (5G/6G)



出典：IoT NEWS「スマートシティ(Smart City)とは」

省エネルギー



出典：資源エネルギー庁 再生可能エネルギー
固定価格買取制度ガイドブック

Zeon Ventures Inc.を設立 スタートアップ企業へ投資開始



Driving potential

EV batteries-and-components,
EV transition support for auto
manufacturers



Manufacturing potential

Green packaging, electronics
components alternative plastics,
renewable chemicals and beyond



Health potential

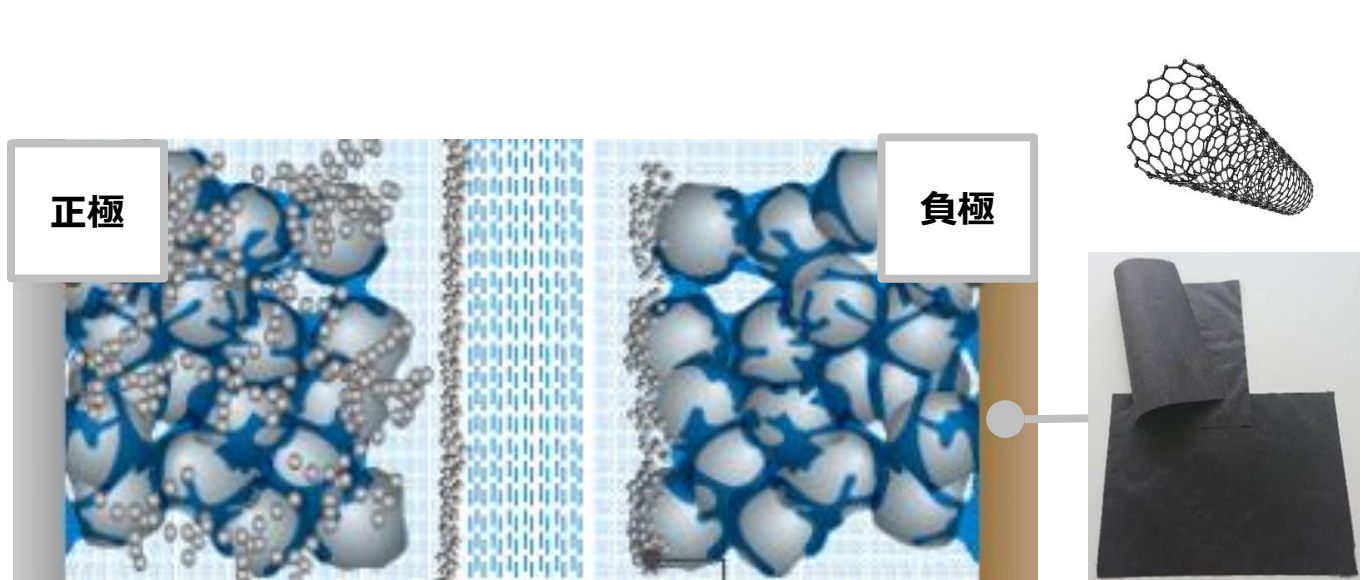
Sustainable healthcare solutions,
including coatings, adhesives,
expedients and devices aimed at
delivering better outcomes... and
better financial performance.



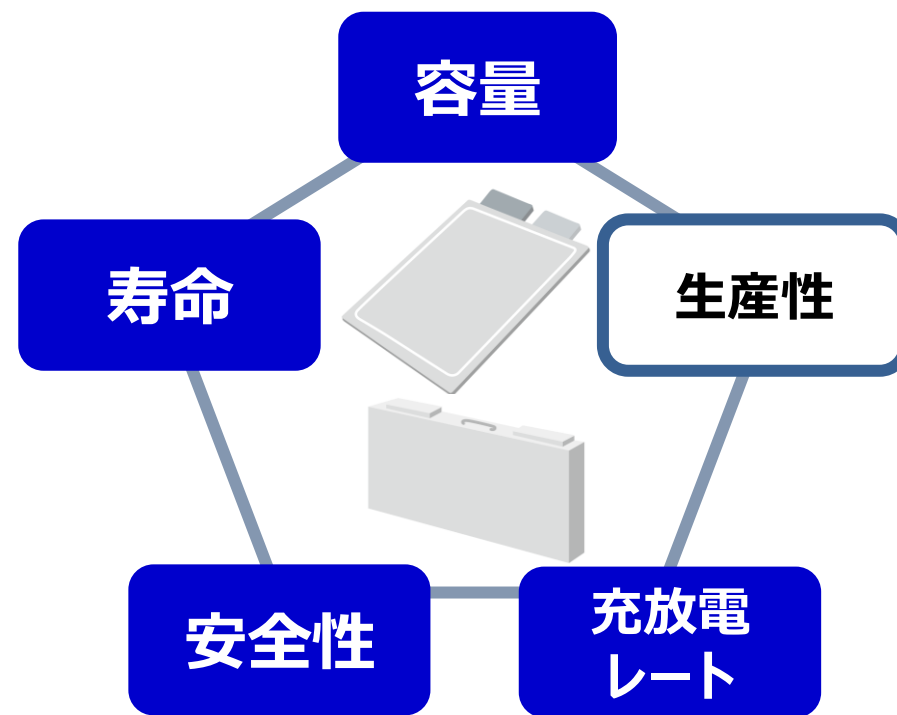
Digital potential

Advancing the fundamental digital
technologies, we'll need to drive a
more sustainable economy: 5G
enablement, informatics, quantum
computing, IoT, AI, robotics

カーボンナノチューブを用いたシートで リチウムイオン二次電池の性能向上



リチウムイオン二次電池の構造略図



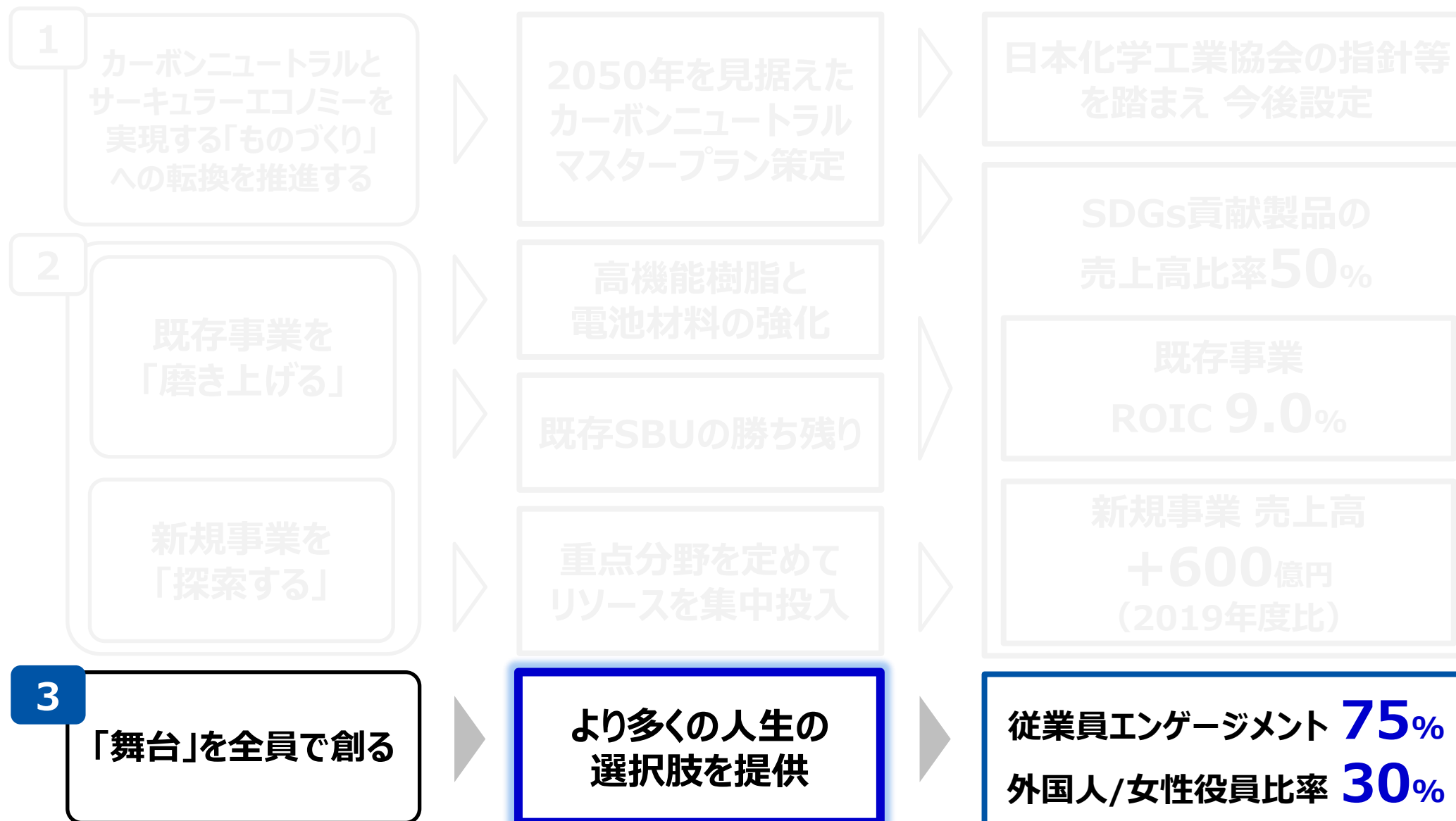
リチウムイオン二次電池に求められる5大性能

次世代負極材として期待されている リチウム金属の実用化に貢献

全社戦略

要となる方策 (2021-22)

2030年の目標値



2021年の主な取り組み

本社オフィスリニューアル
「つながり・磨き上げる場」に

自律的なキャリアデザイン
「職務の透明化」に着手

公募制 DI&B 推進PJ
DI&B Week 試行
社内広報サイトの制作

2021年の数値

従業員エンゲージメント
指数 **52%**

女性従業員 比率
13%

女性管理職 比率
5%

2030年の目標値

従業員エンゲージメント
指数 **75%**

外国人/女性役員比率
30%

女性従業員 比率
20% 程度

女性管理職 比率
20% 程度

新しい概念を取り入れて より多くの選択肢を提供することで 目標を目指す

全社戦略

2030年の目標値

検討項目

1

カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する

CO₂排出量 **50.0%減**
2019年度比
ZEON単体の Scope1+2を対象

投資判断基準としてのICP*の導入

2

既存事業を「磨き上げる」

SDGs貢献製品の売上高比率**50%**

既存事業

ROIC **9.0%**

SDGs貢献製品の認定制度の導入

新規事業を「探索する」

新規事業 売上高
+600億円
(2019年度比)

財務戦略の明確化

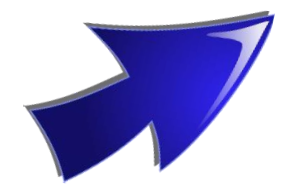
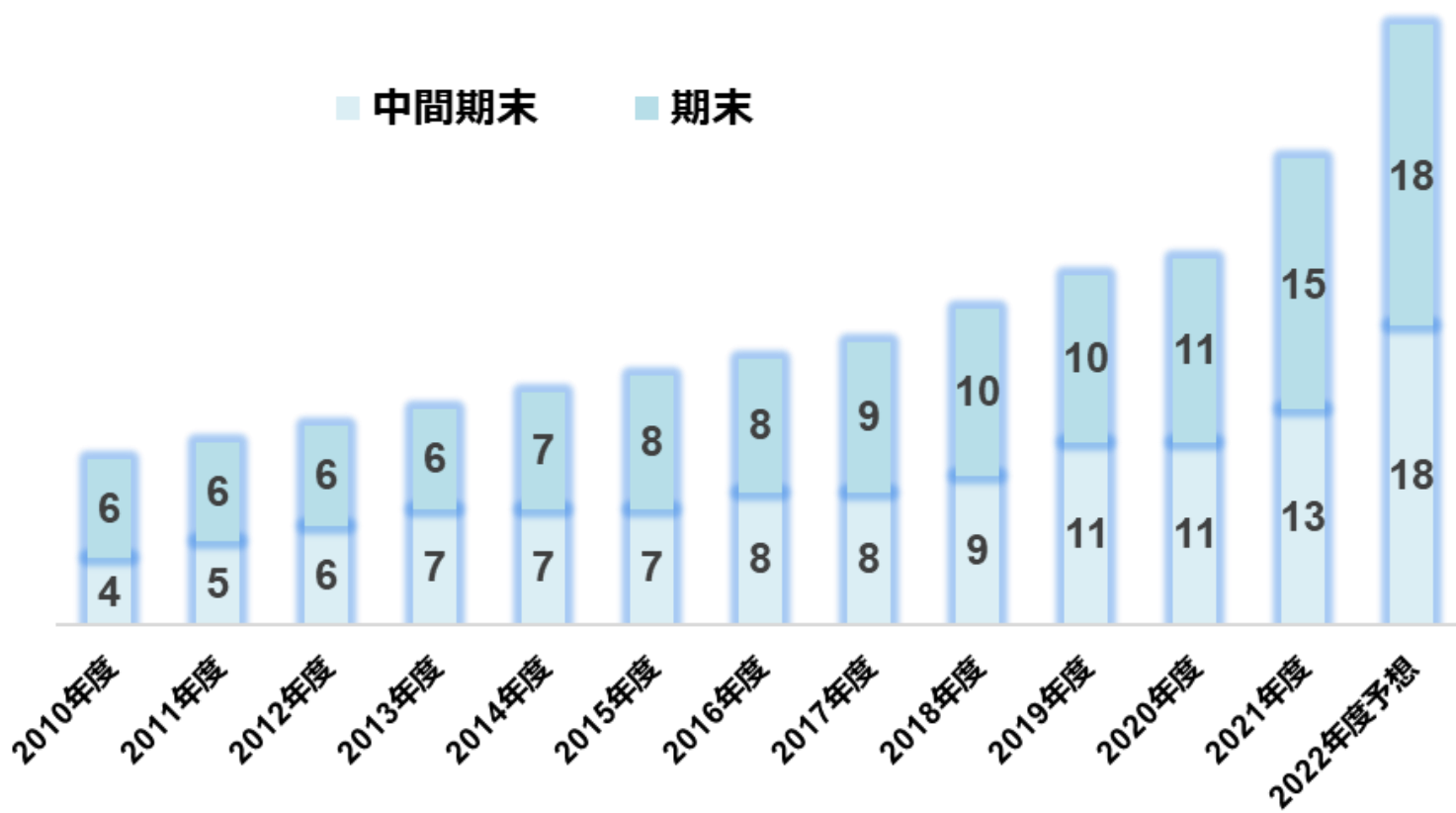
3

「舞台」を全員で創る

従業員エンゲージメント **75%**
外国人/女性役員比率 **30%**

取締役会の多様性確保

【配当金予想、単位：円】



安定的に持続的な
配当政策を継続
(方針に変更なし)

**2022年度の配当金は中間期末18円、期末18円の36円を予想
(対前年度比+8円)**

2022年4月4日
プライム市場上場 に合わせて

従来の説明会運営

決算と中期経営計画の説明会は
同日開催



2022年度 中期経営計画説明会

単独の説明会
2023年5月 (開催予定)

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON